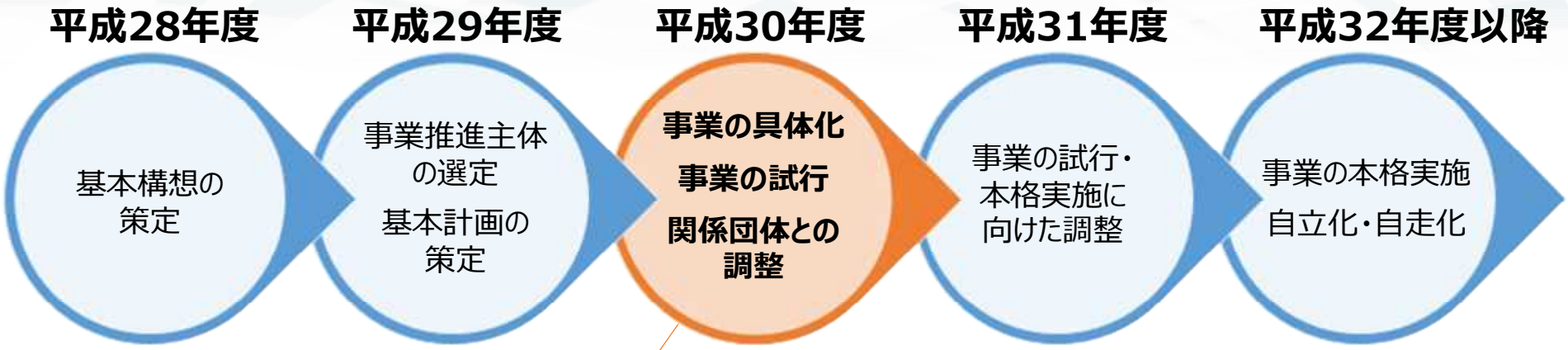
資料４

たまの版生涯活躍のまち（CCRsea）推進状況について

Ⅰ．たまの版生涯活躍のまち（CCRsea）
平成30年度 事業推進状況

1. たまの版生涯活躍のまち（CCRsea）の全体像

◆ たまの版生涯活躍のまち（CCRsea）の全体スケジュール



＜平成30年度に実施した主な事業＞

A 事業推進主体運営費補助金（総合政策課）

- たまの版生涯活躍のまち（CCRsea）基本構想を円滑に推進するため、関係企業・団体、地域住民、移住者等と連携した上で、各種サービス提供の枠組み構築及び事業の具体化を進める「事業推進主体」への補助を行う。なお、事業推進主体は平成32年度以降、自立化・自走化した運営を行うことを前提としている。

B 人材育成事業業務委託（総合政策課）

- 市民の生涯学習活動への参加促進や、観光客を含めた健康増進サービスの充実及び利用促進を図るための仕組みを構築する。業務受託者は事業推進主体及び市内企業・団体と連携し、専門的知識を有する人材の活用及び育成を行う。

C ローカルブランディング推進事業業務委託（商工観光課）

- 本市には瀬戸内海やアートをはじめとした「たまのオリジナル」と称する地域資源が多数存在することを踏まえ、「たまのオリジナル」にさらなる付加価値をつけるため、商品開発及び顧客への情報発信の仕組みを構築する。

2. 平成30年度たまの版生涯活躍のまち（CCRsea）において取り組んだ事業一覧

新たなWebサイトの運用が始まりました！

市内の観光・健康づくりに関するイベント等について、Webサイトから簡単に予約できるようになりました。その他、コラムや各種情報も掲載されています。

日時を選択して直接予約が可能

Webサイト(http://www.setouchi-tcd.com/)

関連事業
- ✓ 着地型観光商品の開発
- ✓ パッケージツアー商品の開発
- ✓ 健康食の開発

ローカルブランディング創出機能

ヘルスツーリズム商品を開発しました！

サイクリングや海岸でのアクティビティ、地元食材等、観光しながら健康プログラムを実施することで、楽しみつつ「気づき」や「動機付け」を得ることができる商品を販売します。

ヘルスツーリズム商品のイメージ

関連事業
- ✓ 宿泊型新保健指導プログラムの開発
- ✓ 施設有効活用型プログラムの開発

ヘルスケアサービス開発機能

観光ガイドやインストラクターを育成します！

ツアーの案内を行う「ガイド」や健康プログラムを提供する「インストラクター」を認定し、来訪者を案内できる体制を構築し、雇用の創出にもつなげます。

ガイド・インストラクター研修

関連事業
- ✓ 大学連携
  ※岡山県立大学の協力により、プログラム中の心拍数等のデータを取得し、身体への負担等を確認。

地方創生人材育成支援機能

観光案内所・健康ステーションが完成予定！

玉野市観光協会との連携により、外国語対応や特産品販売等、リニューアルを実施。（4月OPEN予定）

メルカにおいて、「インボディ計測」や、特定健診にかかる初回面談・相談を開始。（4月OPEN予定）

関連事業
- ✓ 渚の交番プロジェクト
  ※渋川海岸の拠点化を検討中
- ✓ みやま公園
  ※ウォーキング等の拠点化を検討中

交流支援機能

「健康づくり教室」を定期開催しています！

渋川海岸において、週1回、砂浜ウォーキングやストレッチ等の海洋療法プログラムを実践しており、介護予防等、市民の健康増進に寄与しています。

渋川海岸で実施する健康づくり教室の様子

関連事業
- ✓ 既存の取組を活用した講座の実施
- ✓ 「(仮)たまの生活情報プラットフォーム」の活用

医療介護支援機能

充実した移住支援を実施します！

UIJコンシェルジュが市内空き物件等の情報収集やワークショップを実施しており、本市の補助制度を含め、移住希望者へ効果的な情報提供を行います。

空き家を活用したワークショップ

関連事業
- ✓ Webサイトと連携した移住の促進
- ✓ 空き家利活用促進に向けたUIJコンシェルジュとの連携

移住支援機能

3. 「たまのオリジナル」があふれるまちづくり　～ローカルブランディング創出機能の発揮～

◆ ローカルブランディング創出機能の構成

	項　目	概　要
(1)	**Webサイトの構築**	• たまの版生涯活躍のまち（CCRsea）に関する活動やイベント等の情報を一元的に集約・管理し、サイトを通じて予約販売が可能な仕組みを構築する。
(2)	**着地型観光商品の開発**	• 「たまのオリジナル」を活用した本市ならではの着地型観光商品の開発を行う。
(3)	**パッケージツアー商品の開発**	• 本市で体験できるプログラムを組み合わせ、玉野市独自のパッケージツアーとして、国内外に向けた魅力的な商品開発を行う。
(4)	**健康食の開発**	• 本市の地域食材を活用したヘルシーメニューを開発する。 • また、家庭でも味わうことのできる地元健康食として情報発信し、地元住民への普及を推進する。

3. 「たまのオリジナル」があふれるまちづくり　～ローカルブランディング創出機能の発揮～　A　C

（１）Webサイトの構築

たまの版生涯活躍のまち（CCRsea）の取組において開発される**観光商品・健康づくりに関する活動・イベント等を周知することに加え、市民や観光客が簡単に予約できるようなサイトを開発**する。今後は、常に新しい情報を掲載し、玉野市へ観光客を呼び込むため、本サイトを事業推進主体が運営し、**玉野市の魅力あるコンテンツを全国・全世界に対して効果的に発信**していく。**※Webサイトの詳細な機能については、巻末に参考資料として掲載。**

サイトの主な機能

WEBサイト　主な項目		
・NEWS　お知らせ ・EVENT　イベント情報 ・FEATURE　特集記事 ・INSTAGRAM　ハッシュタグ	・ACCESS GUIDE　交通 ・ACTIVITY 体験・教室 ・AREA 玉野エリア情報	・クーポン配信機能 ・お問い合わせ機能

- 市内で活躍する方へのインタビュー等、特集記事を掲載する。

- 事業推進主体が主催するものに限らず、玉野市における各種イベントを紹介する。

- 玉野市で体験できるイベント・ワークショップ・着地型観光商品等を紹介する。
- このページから予約・購入ができる仕組みとなっている。

3. 「たまのオリジナル」があふれるまちづくり　～ローカルブランディング創出機能の発揮～　A　C

（２）着地型観光商品の開発

着地型観光商品とは、**旅行者を受け入れるために、地域で作られる旅行商品**のことである。近年、大都市圏に住む旅行者のニーズとして、各地方の特色ある観光体験を求める傾向があることから、本市では、事業推進主体が地域団体・地元企業等と連携し、**地域特性や既存資源を活用した独自の体験プログラムの策定**を進めている。今年度中に「観音院瞑想体験」、「渋川水族館を活用した体験商品」、「レンタサイクルを活かしたガイドミニツアー」等、複数種類の商品を開発し、**既存の旅行商品販売サイトや、今年度構築したWebサイトにおいて販売を行う。**

本市における着地型観光商品の例

【商品名】

- **「心静かに『無』になる時間。歴史ある観音院ご本堂で瞑想体験」**

【価格】

- **3,000円**

【体験内容】

- **瞑想体験（約40分）に加え、副住職から法話を聞くことで心の癒しを得たり、歴史のある建物の雰囲気を楽しむ等、観音院ならではの体験ができる。**

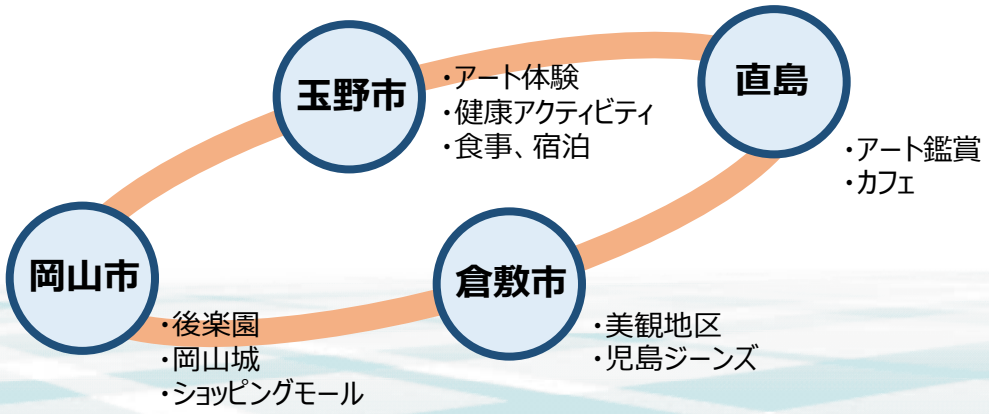
3. 「たまのオリジナル」があふれるまちづくり　～ローカルブランディング創出機能の発揮～　A　C

（３）パッケージツアー商品の開発

旅行商品の販売手法として、（２）着地型観光商品の開発のような個別のプログラムを販売する方法に加え、**宿泊や食事等を含めたパッケージツアー商品として販売する方法**が考えられる。

今年度は、玉野市独自の体験プログラム・食事等を組み合わせた商品を開発し、業務受託者が有するノウハウや販路を活用することで、**観光客を呼び込むことができるような商品の販売を開始**する。

加えて、玉野市だけで完結するツアーだけではなく、既に旅行先としてネームバリューのある岡山市・倉敷市・直島等のコンテンツを組み合わせることで、国内・国外から旅行先として選ばれるような、魅力的な旅行商品づくりも進めている。



パッケージツアー商品例

「瀬戸内タラソテラピーと温泉ビューティの旅」（1泊2日）

開催日：2018年●月●日(●)~2018年●月●日(●)

集合場所：瀬戸内温泉たまの湯（岡山県玉野市JR宇野駅から徒歩5分）集合時間：16:00　出発時間：16:00

	プログラム	場所
1日目		
16：00	集合・オリエンテーション	瀬戸内温泉たまの湯
	入浴プログラム・岩盤浴	
	夕食	
20：00	宿泊	ダイヤモンド瀬戸内マリンホテル
2日目		
7：00	早朝ヨガ	渋川海岸
8：00	朝食	ダイヤモンド瀬戸内マリンホテル
9：30	サイクリング ウォーキング	渋川海岸
10：30	王子が岳ハイキング ボルダリング	王子が岳
12：00	昼食	ビジターハウス

3. 「たまのオリジナル」があふれるまちづくり　～ローカルブランディング創出機能の発揮～　A　C

（４）健康食の開発

玉野市独自の地域食材を活用し、パッケージツアー等で提供するための健康食の開発を行い、**市内の既存飲食店や弁当等として提供できる体制を整える。**さらに、市民に対しても健康食への取組を浸透させるため、**事業推進主体が開発した健康食のレシピを無料公開し、各家庭において気軽に健康食を楽しめるような情報提供を行う。**

市内の飲食店で提供される健康食・弁当等の一例

ダイヤモンド瀬戸内マリンホテル
朝食膳

たまの湯　健康ご膳

玉野のやさしさ弁当
※NPO法人手毬の里にて制作

玉比咲弁当
※NPO法人手毬の里にて制作

健康食のレシピ公開イメージ

※ Webサイト等において公開予定。

4. 楽しみながら健康になれるまちづくり ～ヘルスケアサービス開発機能の発揮～

◆ ヘルスケアサービス開発機能の構成

	項 目	概 要
(1)	**ヘルスツーリズム基幹商品の開発**	• ヘルスツーリズム認証の審査基準に基づいたプログラム（①個人向け、②企業向け、③インバウンド向け）を各１種類ずつ開発する。
(2)	**宿泊型新保健指導プログラムの開発**	• 特定保健指導における指導効果が不十分な者に対して「たまのオリジナル」を活用した新たな保健指導プログラムを開発する。
(3)	**施設有効活用型プログラムの開発**	• 玉野市の資源を有効に活用する広域施策として各拠点に存在する施設に着目し、様々なコンテンツを連携させた大衆向け健康プログラムを開発する。

4. 楽しみながら健康になれるまちづくり ～ヘルスケアサービス開発機能の発揮～

A B

（１）ヘルスツーリズム基幹商品の開発

① 個人向けプログラム 「たまの海走浴～サイクリング×ボディメイク×瀬戸内食×美人の湯～」

平成29年度においてニーズ調査を実施したところ、**玉野市で実施するヘルスケアサービスは女性からの人気が高い**ことが分かった。このことから、玉野市内に点在する地域資源を活用しながら、**「ボディメイク」や「美」に関心の高い女性に喜ばれる商品**を開発した。

観光を楽しみながら健康プログラムを実施することで、楽しみの中から「気づき」、「動機付け」を図ることができる。このプログラムの中では**競輪場や海岸、地元食材等の地域資源を活用し、五感で楽しめるメニュー構成**とすることで参加者に感動を与え、仲間意識や日常でも簡単なトレーニングの習慣を身につけることができ、健康な生活へのライフスタイル転換を図るきっかけを提供することが期待される。

個人向けプログラムの内容

時間	内 容 （ウォーキングコース）
10:00	集合・受付
10:30	オリエンテーション健康計測【健康チェック、血圧等】
11:15	サイクリング
12:45	昼食：瀬戸内食
13:45	ボディーメイク（ウォーキング）
14:30	温泉入浴【瀬戸内温泉たまの湯（塩化物泉）】
16:00	アンケート・解散

4. 楽しみながら健康になれるまちづくり ～ヘルスケアサービス開発機能の発揮～

A B

（１）ヘルスツーリズム基幹商品の開発

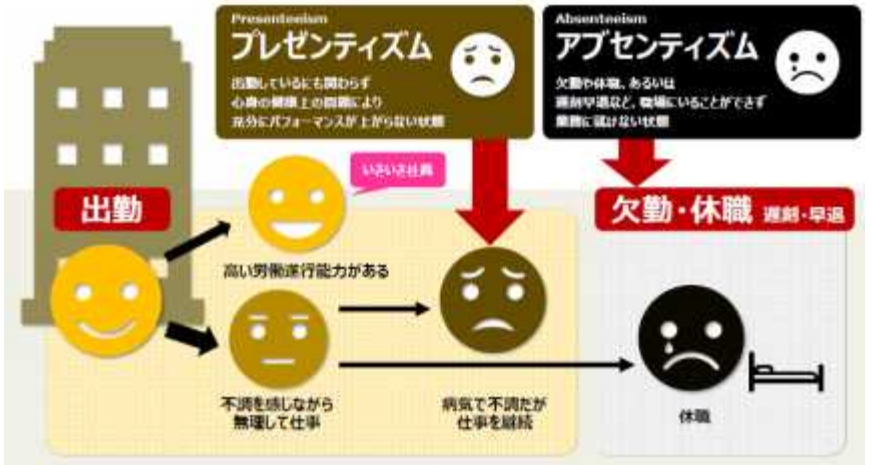
② 企業向けプログラム 「（仮称）健康経営推進企業向け健康増進プログラム」

近年重要視されるようになっている「健康経営®」とは、「企業が従業員の健康に配慮することによって、経営面においても 大きな成果が期待できる」という戦略的な考え方を意味している。企業理念に基づき、**従業員への健康投資を行うことは、従業員の活力向上や生産性の向上等の組織の活性化をもたらし、結果的に業績向上や株価向上につながる**と期待されている。

企業における従業員の健康づくりのきっかけとなるような旅行商品へのニーズの高まりから、客観的な根拠や基準に基づいた健康旅行商品の制作を進めている。

（出典）経済産業省健康経営ハンドブック2018

企業向けプログラムのイメージ



〈行程例〉

- 玉野市の地域資源を楽しみながらも「メンタルヘルス対策」や「チームビルディング」等、**活き活きと働くことにつながるような要素**が含まれたツアー。
- 旅先で健康づくりの楽しさに気づき、**普段の生活に戻ってからも自主的に健康維持・向上を続けられる「行動変容」が生まれる**ような内容のツアー。

4. 楽しみながら健康になれるまちづくり ～ヘルスケアサービス開発機能の発揮～

A B

（１）ヘルスツーリズム基幹商品の開発

③ インバウンド向けプログラム

近年のニーズ調査によると、先進国の人々や新興国の富裕層が地域資源を活用した健康運動を求めて日本を訪れる等、**訪日外国人の中でも健康志向が高まっている**ことが明らかになってきている。そこで、幅広いインバウンド顧客に向けて、例えば、**運動の要素を取り入れつつも、備前焼・温泉・寺院巡りといった文化体験、玉野市ならではのアート体験、瀬戸内海の鮮魚を使った日本料理等、外国人が健康になりながら楽しめるような商品**を開発する。

増加する訪日外国人の旅行ニーズ
5カ国合算　日本の数値を15pt以上上回るもの

電化製品・消耗品・ファッション類の買物
都市公園・日本庭園の散策
皇居ラン
現地の人の暮らしぶりにふれる
田舎暮らしを体験する
廃墟見学
賑やかな雑然とした繁華街を楽しむ
ウェルネス（ヘルス）ツーリズム
ロボットレストラン
地方のひなびた日本の原点の風情を味わう
古墳

（出典）じゃらんリサーチセンター「2030年 観光の未来需要予測研究」

インバウンド向けプログラムのイメージ

〈行程例〉

- 海外では珍しい瀬戸内海の雰囲気を味わいながらのウォーキングや、玉野市独自の材料を用いた日本食の提供、瞑想体験等を組み合わせる。なお、事業推進主体や業務受託者が連携することによって、外国語による解説を行いながらツアーを実施することも可能。

4. 楽しみながら健康になれるまちづくり ～ヘルスケアサービス開発機能の発揮～

A B

（１）ヘルスツーリズム基幹商品の開発

【参考】 ヘルスツーリズム認証の取得

たまの版生涯活躍のまち（CCRsea）基本計画の方向性に従い、本市の健康プログラムについては、経済産業省を中心に策定された「ヘルスツーリズム認証制度」の基準を満たした品質での開発を進めてきた。

まず、**個人向けプログラム「たまの海走浴～サイクリング×ボディメイク×瀬戸内食×美人の湯～」**について、**今年9月末に認証第一号（第１期）を取得することができた。**現在、全国で17しかない認証プログラムの一つに位置付けられている。

また、その他の健康プログラムについても、同様にヘルスツーリズム認証の申請を予定している。

※授賞式の様子

ニュースリリース

平成 30 年 9 月 25 日
ヘルスツーリズム認証委員会

ヘルスツーリズム認証※1プログラム（第１期）を決定
認証授与式を開催します

ヘルスツーリズム認証委員会※2は、第１期として申請されたプログラムの文書審査を行い、判定委員会による審議・判定を経て 17 のプログラムにヘルスツーリズム認証を交付することを決定しました。認証プログラムと提供事業者は以下の通りです。

本交付に伴い、10 月 2 日（火）に認証授与式を開催いたします（詳細は添付資料をご参考ください）。

認証マーク

記

（事業者所在地順、プログラム五十音順）

認証プログラム名	提供事業者（所在地）
DAZAI 健康トレイル 青森ひばの神木コース	一般社団法人かなぎ元気村（青森県）
カラダに優しいクアオルト膳とプチ湯治	有限会社有馬館（山形県）
クアオルト健康ウォーキング（空色・暮色ウォーキング）	一般社団法人上山市観光物産協会（山形県）
クアオルトこんにゃく会席箱膳	株式会社丹野こんにゃく番所（山形県）
クアオルトバランス膳・早朝ウォーキング	有限会社彩花亭時代屋（山形県）
ヘルスコンシャルプラン	株式会社ルネサンス棚倉（福島県）
癒しの森のセラピーウォーキング	一般社団法人南房総健康ラボ（千葉県）
リハビリ旅行	リハビリ推進センター株式会社（東京都）
癒しのヘルスツーリズムプログラム「くらふぉと」クラフト体験・写真撮影・ウォーキング	coco de class 株式会社（東京都）
とやま健泊＠立山山麓	株式会社アピアスポーツクラブ（富山県）
バディケアと３００年目に復興した信州巡礼 de 正しく楽しく元気に健康歩行	一般社団法人日本バディケア協会（長野県）
木曽開田高原健康ウォーキング	一般社団法人木曽おんたけ健康ラボ（長野県）
熊野古道健康ウォーキング	特定非営利活動法人熊野で健康ラボ（和歌山県）
OHDA made の旅 琴ヶ浜ヘルスツーリズム	一般社団法人島根おおだ健康ビューロー（島根県）
OHDA made の旅 三瓶山ヘルスツーリズム	一般社団法人島根おおだ健康ビューロー（島根県）
たまの海走浴～サイクリング×ボディメイク×瀬戸内食×美人の湯～	一般社団法人玉野コミュニティ・デザイン（岡山県）
こころ・からだ よみがえる 健康ながゆ旅	特定非営利活動法人竹田市観光ツーリズム協会（大分県）

なお、第２期の交付については 12 月頃になる予定です。

以上

4. 楽しみながら健康になれるまちづくり ～ヘルスケアサービス開発機能の発揮～

A B

（２）宿泊型新保健指導プログラムの開発

宿泊型新保健指導プログラム（スマート・ライフ・スティ）とは、**生活習慣病を効果的に予防することを目的に、糖尿病が疑われる者等を対象として、ホテル、旅館等の宿泊施設や地元観光資源等を活用して保健師、管理栄養士、健康運動指導士等が多職種で連携して「特定保健指導」を行う、新たな保健指導プログラムのこと**である。玉野市独自のプログラムを策定した上で、協会けんぽや市町村共済組合等を通じて各企業・団体に周知し、市外・県外の企業・団体からの受入れができるよう準備を進めている。

玉野市における宿泊型新保健指導プログラム例

1日目	2日目
（移動）	健康プログラム 早朝ウォーキング・朝ヨガ等
	朝食
特定保健指導 初回面談・栄養プログラム	特定保健指導 海洋プログラム（SUP等）
夕食	
温浴・インボディ計測	

＋

フォロープログラム（特定保健指導準拠）
特定保健指導実施者の保健師／管理栄養士等による遠隔保健指導

※企業向けチラシイメージ

4. 楽しみながら健康になれるまちづくり ～ヘルスケアサービス開発機能の発揮～

A B

（３）施設有効活用型プログラムの開発

市内各地の既存施設を活用し、**ヘルスツーリズムの受入先となるための健康プログラムを策定**する。

①みやま公園

天然のストレッチボードを活用したストレッチ、美尻・美脚ウォーキング、ノルディックウォーク（2本のストックを利用したウォーキング）等のプログラムを策定する。今年度、試行的にプログラムを実施した。

②温泉利用型健康増進施設（連携型）

厚生労働省が定めた制度を活用し、温浴施設と運動施設を一体化したプログラムを策定する。市民病院と連携することで、施設利用料について医療控除が受けられることとなる。今年度中に策定予定。

③渋川海岸

ビーチヨガ、ビーチフィットネス等に加え、ロコモチェック（立つ・歩く・走る・座る等の移動機能を確認するためのテスト）が含まれた海洋療法プログラム等を策定する。今年度、試行的にプログラムを実施した。

④王子が岳

ウォーキング、ボルダリング等。県内のボルダリング団体やイベント企画会社とも連携の上、プログラムの策定を進めている。

⑤玉野競輪

未経験者であっても、指導を受けながら競輪場内のバンクを体験できるようなプログラムの策定を検討している。

⑥アトリエ・工房

作家からの指導を受けながら、心も健康になれるようなアート体験プログラムの策定を進めている。

みやま公園（ストレッチ）

ノルディックウォーク

オーバル玉野

たまの湯

渋川海岸（ロコモチェック）

王子が岳

5. 「地域」で「地域」を支えるまちづくり　～地方創生人材育成支援機能の発揮～

◆ 地方創生人材育成支援機能の構成

	項　目	概　要
(1)	**現場運営人材の育成**	• 現在開発を進めている観光商品や健康プログラム、健康づくり教室の運営において担い手となるガイド・インストラクターを育成する。
(2)	**大学連携**	• 県内の大学・専門学校等との連携により、玉野市における健康プログラムを提供する担い手の育成や、新たな仕事の創出、市内就職率の向上を図る。

5. 「地域」で「地域」を支えるまちづくり　～地方創生人材育成支援機能の発揮～

A B

（１）現場運営人材の育成

玉野市内において様々な観光商品や健康プログラムの策定を進めている一方、各種サービスを担う人材を育成することも重要な観点である。そこで、**ツアーの案内を行う「ガイド」や各種健康プログラムを提供する「インストラクター」を認定**し、来訪者を案内できる体制を構築する。

今年度は、運動指導に携わる関係者に集中して告知したところ、**合計で20名の参加があり、最終的には9名（うち、市内在住者6名）のガイドが誕生した。**今後、実務経験を積みながら、将来的にはツアー全体の案内ができるまでの育成を進めることを計画している。

なお、来年度以降も募集を行い、ガイド及びインストラクターの育成を推進する。特に、**玉野市出身者がヘルスケアサービスを担う人材になることに加え、今後は、市外出身者についても人材として受け入れができるまでの事業拡大を目指す。**

研修の様子

実務研修

（２）大学連携

たまの版生涯活躍のまち（CCRsea）における健康プログラム等の担い手を育成するため、県内を中心とした大学・専門学校等との連携により、新たな仕事の創出、市内就職者数の向上を目指す。今年度については、岡山県立大学、ノートルダム清心女子大学との連携の上、以下の事業を実施する。

①フィールドワークの実施

事業推進主体が実施している「健康づくり体験会」において、岡山県立大学情報工学部 綾部誠也准教授の研究室に所属する学生が渋川海岸においてフィールドワークを実施する。（平成30年12月18日実施。）

運動中の心拍数等のデータをもとに身体への負担等を確認し、現プログラムの評価を行うとともに、適切なプログラムのあり方を考える。また、学生に本市の取組を知っていただくことで、**将来的には本市におけるサービスの担い手となるよう、継続的な連携**も進めていく。

②公開講座の実施

平成31年2月6日に綾部誠也准教授を招き、玉野市民を対象とした公開講座を実施。今回は特に、**移住者や働き世代を主なターゲットとした内容とし、若いうちから健康づくりに取り組むことの重要性を認識していただく**ことをテーマとする。

また一方で、ノートルダム清心女子大学との連携も検討しており、管理栄養を学ぶ学生を対象に、本事業の一環で制作している健康弁当の試食や意見交換をするとともに、ヘルスツーリズム・健康食に関する学習会を計画している。

6. いつもなにかが生まれるまちづくり　～交流支援機能の発揮～

◆ 基本計画に記載した各機能の進捗状況

基本計画において位置づけている宇野・築港地区における各機能について、以下のとおり具体化を進めている。

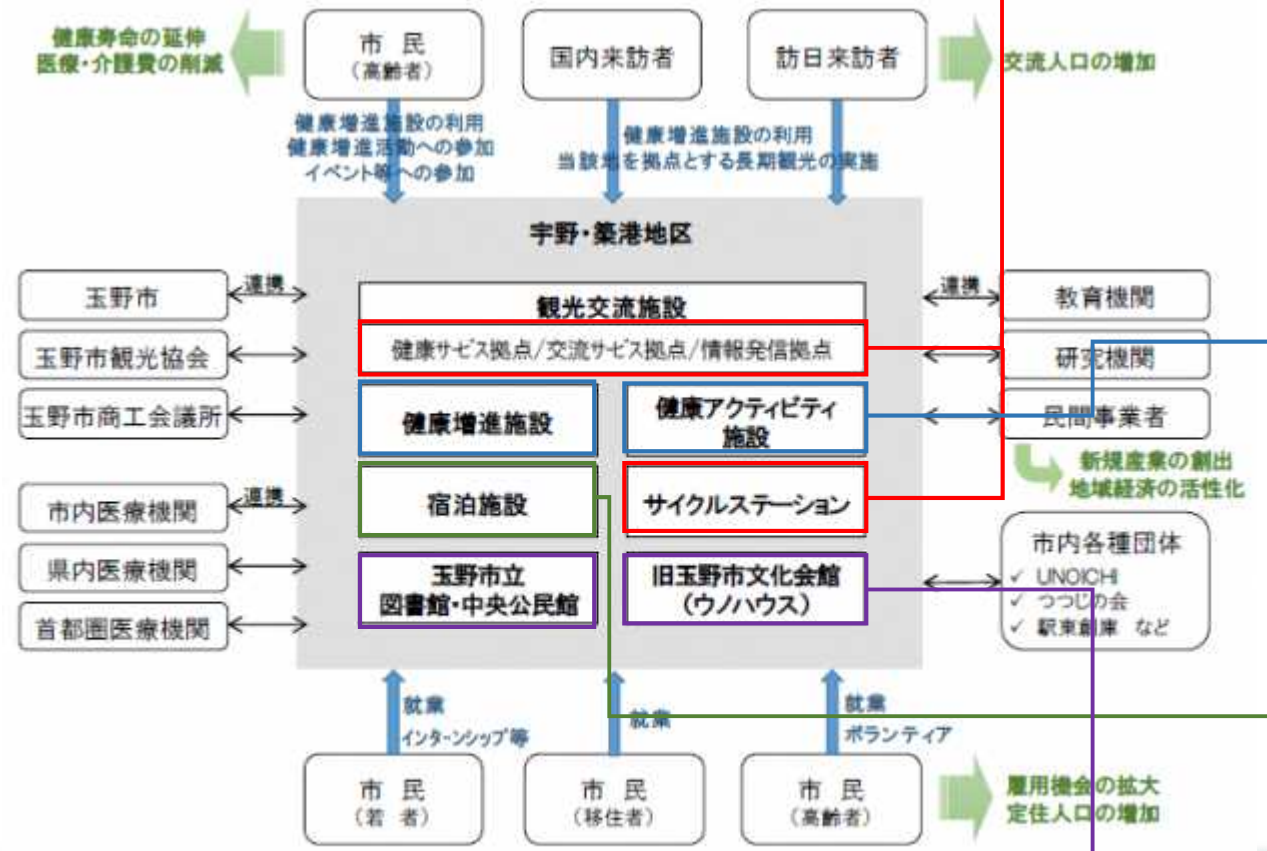


図 14　宇野・築港地区におけるまちづくり体制イメージ図

健康サービス拠点

平成30年度内にショッピングセンターメルカ内において整備予定。

交流サービス拠点・情報発信拠点・サイクルステーション

平成30年度内にJR宇野駅内において体制構築を進める。

健康増進施設

温泉利用型健康増進施設（連携型）〈たまの湯・オーバル・市民病院〉でのサービス提供を検討中。

健康アクティビティ施設

フットサルコートの活用、宇野地内でのボルダリング整備等を検討中。

宿泊施設

民間事業者が整備する宿泊施設との連携を想定。

図書館・中央図書館、旧玉野市文化会館

既に事業者が実施しているサービスとの連携を想定。

6. いつもなにかが生まれるまちづくり　～交流支援機能の発揮～

A

（１）健康サービス拠点

本市においては、特定健診受診率が県内でも特に低いことに加え、健康づくりに取り組む市民が一部に限られていることから、市民全体の健康増進の機運を高めていくことは喫緊の課題である。このような状況を踏まえ、今年度、**事業推進主体が特定保健指導を実施する体制を構築するため、特定保健指導機関の申請を行っている。**来年度以降、事業推進主体が特定保健指導機関として、今までになかったような、玉野市独自の地域資源を活用した特定保健指導を実施することを計画している。

企業・団体向けにも周知し、市外・県外の企業等からの受入れができるよう準備を進めている一方で、市民が気軽に健康増進に取り組める環境づくりを進めるため、**事業推進主体が平成30年度中にショッピングセンターメルカ内において「健康ステーション（仮称）」を整備する。**ここで、自身の健康状態を知ることができる「インボディ計測」や、特定健診にかかる初回面談、継続支援に関する相談を受けることができるような体制を整える。

インボディ計測のイメージ

- 筋肉・肥満指標に加え、体内のバランスや栄養評価を知ることができ、自分自身の体について自覚を持つきっかけとすることができる。

健康サービスステーションイメージ

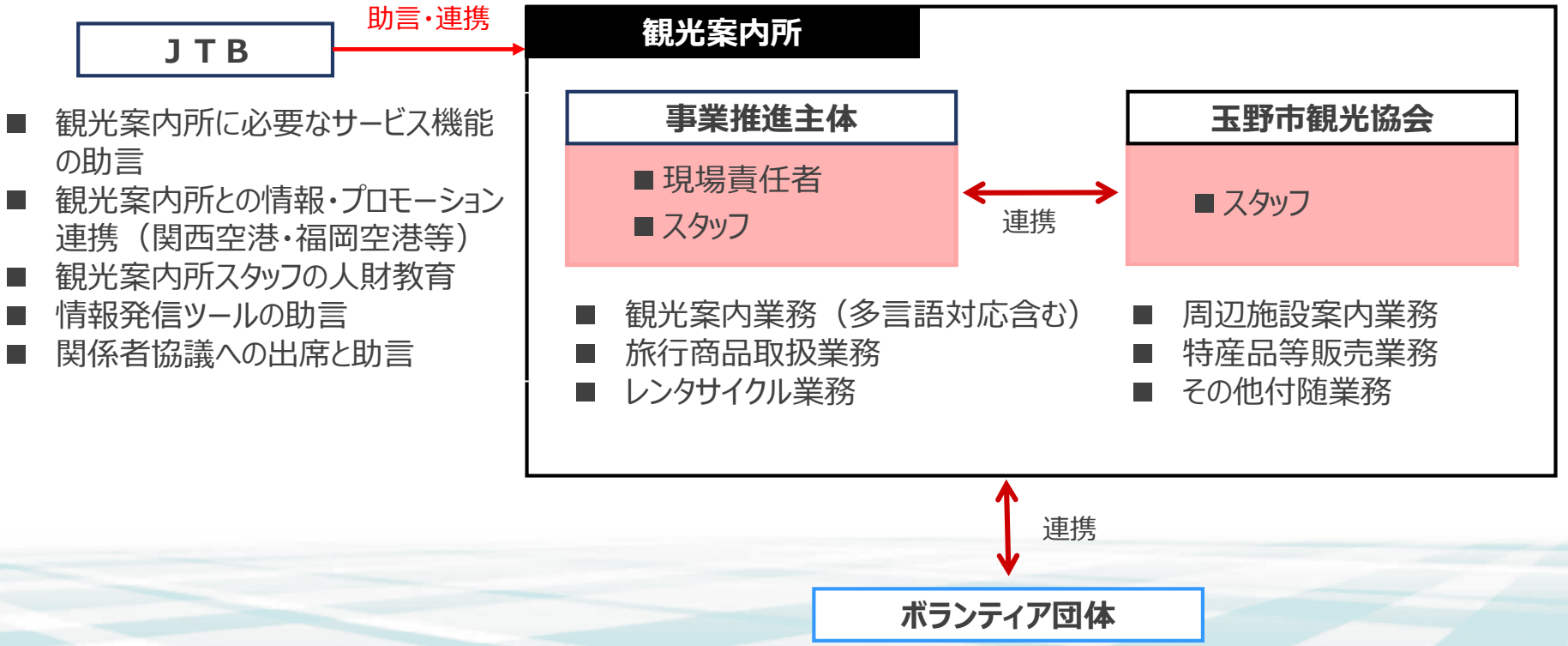
6. いつもなにかが生まれるまちづくり ～交流支援機能の発揮～

A

（２）交流サービス拠点・情報発信拠点、サイクルステーション

今年度、**事業推進主体と玉野市観光協会が連携することで、ＪＲ宇野駅において、外国語対応をはじめとした観光案内体制を構築**する。また、駅構内での体験・交流イベント等の開催や、ボランティア団体と連携したおもてなしを行うことで、玉野市の玄関口における観光案内・情報発信の機能を強化する。

観光案内体制



7. 健康で安心して暮らせるまちづくり ～医療介護支援機能の発揮～

◆ 医療介護支援機能の構成

	項 目	概 要
(1)	**「健康づくり教室」の定期開催**	• 健康に関する知識等を向上するため、「健康づくり教室」を定期開催し、市民への定着を図ることで、市民参加及び健康意識の向上につなげる。
(2)	**既存の取組を活用した講座の実施**	• 市内既存の講座や教室を活用しつつ、海洋療法、運動療法等の健康増進に関する生涯学習講座等、楽しみながら学ぶことの出来る環境づくりを推進する。
(3)	**「（仮）たまの生活情報プラットフォーム」の活用**	• 市民及び移住者の利便性向上を目的に、市内の医療機関情報や健康増進施設、交流・文化施設、商業施設、観光資源・イベント等、本市で生活する上で必要となる情報を集約したプラットフォームを提供する。

7. 健康で安心して暮らせるまちづくり　～医療介護支援機能の発揮～

A B

（１）「健康づくり教室」の定期開催

①　教室Ⅰ　渋川海岸「海洋療法」を活用した健康づくり

これから始める『健康づくり』教室

教室Ⅰ：渋川海岸「海洋療法」を活用した健康づくり

【開 催 日】 10/9～12/25　毎週火曜日　全12回
10月9日、16日、23日、30日、11月6日、13日、20日、27日
12月4日、11日、18日、25日

【時　　間】 10：00～11：30

【場　　所】 渋川海岸

【内　　容】 筋力アップ、脳活性、ダイエットのプログラム。
ボディメイクや若返りを目指して、
海岸ウォークやストレッチなどを
渋川海岸で行います。

【定　　員】 30人（先着/定員になり次第、募集を締め切らせていただきます）

【参 加 料】 12,000円

参加者にはスターターキット（健康づくりグッズ）プレゼント！！

ロコモチェック

ボールを活用したストレッチ

スターターキット

2人組での砂浜ウォーキング

＜概要＞
- 渋川海岸をロケーションとした総合的な健康教室を実施。
- 気候療法について、期待される効果を検証した上で企画。
- 講師：OSK、玉野ヘルスツーリズムガイドの会
- 2018年10月9日（火）～3か月　毎週火曜日に実施。
- 参加者：12名（うち11名が女性、概ね50代～80代）

- 初回と最終日に握力計、身長・体重計、長座体前屈計測機器で測定する。
- 参加者にはスターターキット（メジャー、小さなボール、布、ナップサック等）を配布し、教室において利用する。
- 最高齢で88歳の方がいらっしゃったが、「ちょうどよい運動であった。」「丁寧に教えてもらえた。」との声があった。

7. 健康で安心して暮らせるまちづくり　～医療介護支援機能の発揮～

（１）「健康づくり教室」の定期開催

②　教室Ⅱ　健康食＆楽しみながら筋力アップ

これから始める『健康づくり』教室

教室Ⅱ：健康食＆楽しみながら筋力アップ

【開催期間】	**10/5～12/28　11/23除く毎週金曜日　全12回** 10月5日、12日、19日、26日、11月2日、9日、16日、30日 12月7日、14日、21日、28日
【開催日時】	10：30～13：00
【場　　所】	玉野市立図書館中央公民館他
【内　　容】	筋力アップ、脳活性の簡単なプログラムにより、 寝たきり・介護予防を目指します。 また、運動後に地元食材を活用した健康食を食べていただきます！
【定　　員】	20人（先着/定員になり次第、募集を締め切らせていただきます）
【参 加 料】	12,000円　食事代含みます！

＜概要＞

- 主に食と運動を通じた新感覚の健康教室。
- 腸の働きを活発にする発酵食品や動脈硬化の予防効果がある食材等、健康を意識した食事メニューの作り方を、地域の飲食店（料理人）が指導、試食。
- 食事前後に楽しみながら筋力アップするメニューを体験指導。
- 食担当講師：一般社団法人玉野コミュニティ・デザイン
- 運動担当講師：株式会社オーバル玉野コム
- 2018年10月5日（金）～3か月　毎週金曜日に実施。
- 参加者：12名（全員が女性、概ね50代～80代）

たまの版ＣＣＲｓｅａ

地元食材使い驚きの味

健康づくり教室が開講

市の移住・定住促進施策「たまの版ＣＣＲｓｅａ」の市民向け健康づくり教室が５日、宇野の市立図書館・中央公民館で開講した。健康食と海洋療法の各教室があり、この日は「健康食＆楽しみながら筋力アップ」。12月までの毎週金曜、地元食材を糖質や塩分、タンパク質などのバランスが取れた健康食に調理し、おいしく食べる方法を学ぶ。

初日は市内の主婦ら12人が参加。国内外のホテルで料理長などを務めた瀬戸内温泉たまの湯（築港）の石川勝幸支配人(54)の指導で白身魚のソテーを作った。

朝、道の駅みやま公園（田井）で買った新鮮なチヌをオリーブ油で皮目をぱりっと焼き上げ、ミネラルたっぷりの胸上産のりのクリームソースをかけるのがＣＣＲｓｅａ流。参加者は「海の魚は身から焼く」などプロのノウハウを教わりながら手際よく調理。身長から割り出した適正量のもち麦ご飯やスープなどと一緒に試食した。

宮崎洋子さん(70)＝宇野＝は「のりのソースは初めて。おいしくて健康になれるなんてありがたい。ぜひ家でも試したい」と話した。

健康づくり教室は、市の公募で事業推進主体になった一般社団法人玉野コミュニティ・デザイン（築港）が主催。9日には渋川海岸を会場に、砂浜ウオークやストレッチに取り組む「海洋療法」教室も始まる。健康食の教室と同様、12月下旬まで計12回を予定する。

両教室とも独自開発した健康プログラムを参加市民が実践し、現在と3カ月後の体重、血圧、柔軟性などを比較して有効性を探る。（松山定道）

石川さん（手前右）から白身魚をソテーにするこつを学ぶ受講者

平成30年10月6日_山陽新聞玉野圏版

7. 健康で安心して暮らせるまちづくり　～医療介護支援機能の発揮～

A　C

（２）既存の取組を活用した講座の実施

①民生委員愛育委員合同研修会
主催：玉野市民生委員児童委員協議会・玉野市愛育委員協議会
日時：2018年7月18日（水）13:30～15:00
場所：すこやかセンター　やまももホール
演題：「これから始める健康づくり～筋力アップ、脳活性そしてダイエット」
参加人数：約160名

愛育委員会・民生委員会研修会

②玉野ヘルスケア健康講座説明会
主催：玉野市
日時：2018年9月19日（水）10:00～11:30
場所：玉野ショッピングモールメルカ　1F
演題：「これから始める健康づくり」無料体験会
参加人数：約120名

玉野ヘルスケア健康講座説明会

③食育イベント講演
主催：玉野市食育推進協議会
日時：2018年10月19日（金）13:30～14:00
場所：玉野ショッピングモールメルカ　1F
演題：「美容と健康にいい食事の話」
参加人数：約70名

食育イベント講演

深山公園ウォーキングイベント

④深山公園ウォーキングイベント
主催：玉野市愛育委員協議会
日時：2018年11月1日（木）9:20～11:15
場所：みやま公園　自由広場
演題：「美尻・美脚ウォーキング」
参加人数：約140名

深山公園宝探し健康ウォーク

健康たま～るポイント

⑤深山公園宝探し健康ウォーク（ノルディックウォーク）
日時：2018年11月23日（金）11:00～12:00　主催：道の駅みやま公園まつり実行委員会
場所：みやま公園　　演題：「深山公園　宝探し健康ウォーク（ノルディックウォーク）」 参加人数：約50名

（３）「（仮）たまの生活情報プラットフォーム」の活用

１．経緯

平成29年度に策定した基本計画において、医療介護支援機能を発揮する手法の一つとして、「（仮）たまの生活情報プラットフォーム」の整備を進めることを掲げている。これは、**市民及び移住者の利便性の向上を目的に、市内の医療機関情報や健康増進施設、交流・文化施設、商業施設、観光資源・イベント等、本市で生活する上で必要となる情報を集約したプラットフォームを提供していく**ことを想定している。

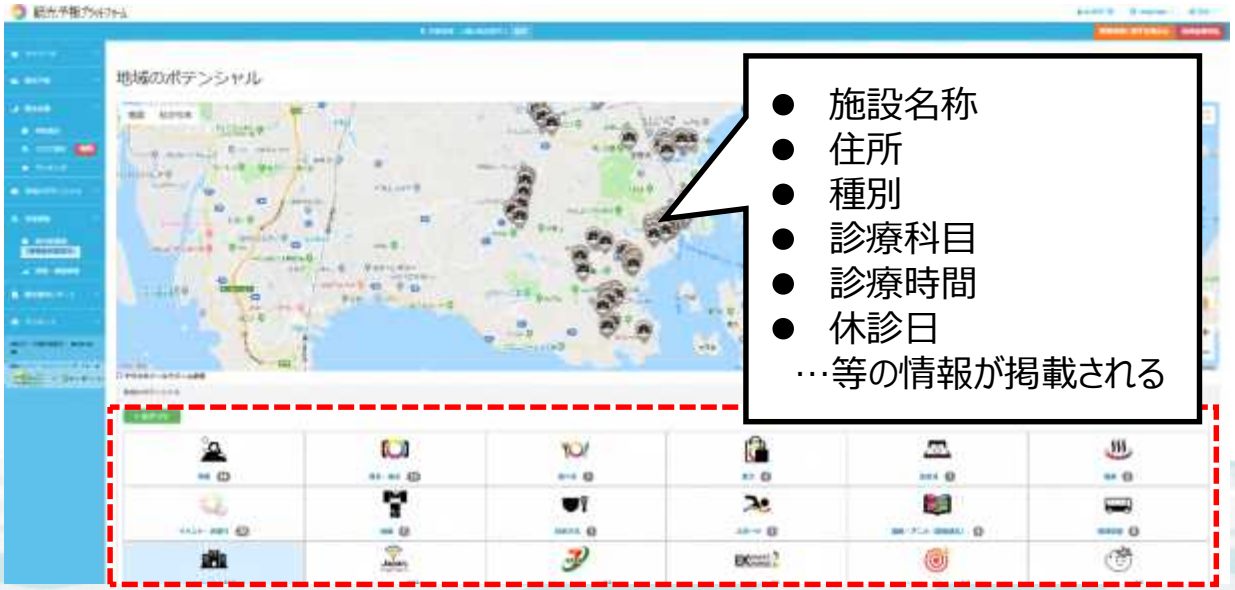
２．サービスの概要

具体的なサービスの提供方法として、**経済産業省が開発した「観光予報プラットフォーム」を活用**する。「観光予報プラットフォーム」では、様々なカテゴリーごとの情報を地図上に一括表示できることに加え、情報の追加・編集等の管理も比較的簡易であり、**原則として無料での活用が可能**となっている。本市では、平成31年4月より、当該機能を活用したサービスを稼働する。

３．サービスの利用方法について

玉野市ホームページ及び今年度開発するWebサイトに掲載する。

https://kankouyohou.com/omotenashi-web/region?cityCode=33204



8. 行きたくなる、住みたくなるまちづくり　～移住支援機能の発揮～

◆ 移住支援機能の構成

	項　目	概　要
(1)	**Webサイトと連携した移住の促進**	• IJUコンシェルジュと連携した移住支援に関する取組や情報をWebサイトに掲載することで、今まで以上に移住希望者に対して本市の魅力を発信し、移住者の獲得につなげる。
(2)	**空き家利活用促進に向けたIJUコンシェルジュとの連携**	• 移住希望者の受け入れ促進に向け、空き家を活用した住まいの提供について、官民連携による効果的な手法を検討する。

8. 行きたくなる、住みたくなるまちづくり　～移住支援機能の発揮～

A

（１） Webサイトと連携した移住の促進

IJUコンシェルジュと連携した情報をWebサイトに掲載することで、今まで以上に移住希望者に対して本市の魅力を発信し、移住者の獲得につなげる。

掲載イメージ

IJUコンシェルジュの取組の紹介

IJUコンシェルジュへのインタビュー

玉野市の特徴・魅力発信

（２）空き家利活用促進に向けたIJUコンシェルジュとの連携

移住希望者の受け入れ促進に向け、現在課題となっている住まいの提供について、官民連携による効果的な取組を講じることができないか、IJUコンシェルジュ、事業推進主体、市関係部署と協議・検討を行った。

空き家の利活用は、様々な事情から積極的な民間事業者の参入が望めないことから、まずは、**IJUコンシェルジュを中心に、地元コミュニティ等との連携により、個別物件の詳細情報を収集し、物件の状況に応じて活用手法を検討する**こととした。また、空き家利活用の促進に向けた取組の普及・啓発を図るため、**IJUコンシェルジュにより、空き家を活用したワークショップを開催**した。

作成：NPO法人みなと・まちづくり機構たまの

Ⅱ．基本計画の成果目標について

1. 基本計画の成果目標について

◆ 基本計画に位置づけた成果目標及び進捗状況

	平成27 (2015)年度 《基準値》	平成28 (2016)年度 《実績値》	平成29 (2018)年度 《実績値》	平成32 (2020)年度 《最終目標》
①若者の転出超過数	263人／年	289人／年	393人／年	153人／年
②たまの版生涯活躍のまちの取組による移住者数（累積）	0人	17人	37人	100人
③たまの版生涯活躍のまちの取組による若者の雇用者数（累積）	0人	4人	6人	30人

②、③の成果目標については順調に推移しているものの、①については、平成28年度、29年度ともに基準値よりも悪化する結果となっている。

たまの版生涯活躍のまち（CCRsea）の推進によって、新たな産業の創出が生まれ、若者の転出超過にも歯止めがかかることが期待されるが、平成29年度については、本市独自の地域資源を活用したモニターツアー等、試験的な事業の実施にとどまっている。よって、平成30年度以降、事業を具体化していくことが成果目標達成の鍵となる。

ニーズ調査の結果等から、本市独自の地域資源を活用した「健康×観光」のまちづくりを推進することで、交流人口の増加が期待されることが分かっている。よって、今後も、策定した基本計画の内容に従い、さらなる事業の具体化を推進することとする。

参考資料

（Webサイトについて）

参考資料.

Webサイトについて（補足）

（１）Webサイト　全体機能

Webサイト　主な項目		
・NEWS　お知らせ ・EVENT　イベント情報 ・FEATURE　特集記事 ・INSTAGRAM　ハッシュタグ	・ACCESS GUIDE　交通 ・ACTIVITY 体験・教室 ・AREA 玉野エリア情報	・クーポン配信機能 ・お問い合わせ機能

Webサイトについて（補足）

（２）サイト内特集記事

FEATURE　特集

玉野の魅力を知っていただくためには玉野特有の物語を知っていただくことが近道。
そのため、玉野の人をフォーカスした特集記事を掲載して魅力を伝える。

魅力発信と商品との連携を目指す

Webサイトについて（補足）

（３）イベント情報

EVENT　イベント情報

・サイトの更新情報を直近4件記載

イベント情報をクリックすると、ポップアップで詳細情報を表示

Webサイトについて（補足）

（４）アクセス

ACCESS GUIDE　交通
玉野市への交通情報を簡易化したマップで表現

ツーリズムの観点から、またオープンデータから大部分の方が活用するであろう交通手段の行程に関する情報を掲載。

画面作成
イメージ

Webサイトについて（補足）

（５）アクティビティ

ACTIVITY　体験・教室

玉野市で体験できるイベント・ワークショップ・着地型旅行などを紹介。
予約システムとつなげることで、そのまま予約ができる仕様とする。

※周辺アクティビティも含め、管理・販売システムを用いてWebサイトから予約できる仕組みを実現。

Webサイトについて（補足）

（６）エリアガイド

AREA GUIDE　エリアガイド

玉野市周辺を6つのエリア（下記）に分けて特徴と主な観光地を紹介
→①宇野・築港エリア②渋川・王子が岳エリア③みやま・田井エリア④東児・山田エリア⑤荘内・八浜エリア⑥瀬戸内のアートな島々エリア

画面作成
イメージ

Webサイトについて（補足）

（７）クーポン

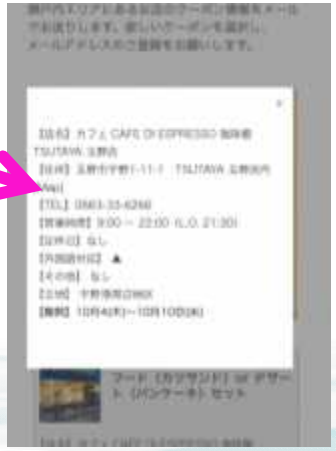
COUPON　クーポン
市内事業者のクーポンを掲載することで、連携した来客促進を図る。

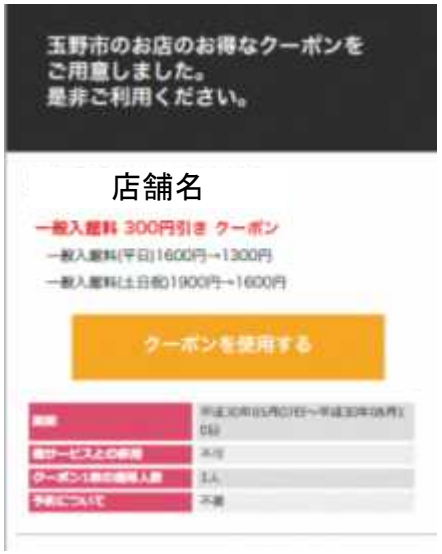
クーポン選択
（内容は仮）

メールアドレス
登録

クーポンを
メールに送信

クーポン詳細





お店で利用

Webサイトについて（補足）

（８）お問い合わせ

CONTACT お問い合わせ

お問い合わせ情報も顧客情報に紐づけて記録・管理する。